

NPO法人アートネットワーク・ジャパン
2020年9月24日

たちかわ創造舎 第二期事業概要（草案）

1.目的

共に学ぶ・創る・発信するファクトリー「たちかわ創造舎」は、元学校という学びの場を活用した文化創造のための活動拠点です。

2004年に廃校となった多摩川小学校の校舎や体育館などの貴重な資源をいかし、撮影・スペース利用として施設の貸し出しを行うとともに、多摩エリアにて、文化を担う人々や地域の方、各施設と協力しながら多岐にわたるプログラムを展開し、広く発信しています。

ディレクターとともに対話を通して、プロフェッショナルが集まる文化創造のためのコミュニティの活性化を図り、クリエイティブな活動を通じて、この地域の活性化を目指しています。

2015年8月から立川市旧多摩川小学校有効活用事業としてNPO法人アートネットワーク・ジャパンが、連携団体とともに運営しています。

2.第二期の体制

ディレクター 倉迫康史（※第一期より継続）

1969年生。宮崎県出身。舞台演出家、放送作家。早稲田大学政経学部卒業後、演出家を志す。劇団山の手事情社演出助手、劇団吟遊市民主宰を経て、現代舞台芸術ユニットOrtを始動。2007年よりTheatre Ort主宰・演出を務め、さらに劇団公演以外にもオペラやミュージカルの演出を手掛けている。10年～14年3月までにしずかも創造舎アソシエイト・アーティストに就任。構成・演出作品である「子どもに見せたい舞台」シリーズは毎年好評を博し、地域の文化活動に貢献した。洗足学園音楽大学、桜美林大学講師。演劇やリーディング、コミュニケーションのワークショップも数多く行っている。

---ディレクターメッセージ（初心：初回より）---

開かれた対話の場を作ることが、人々が共に生き、共に暮らすための知恵と技術を学ぶ場を作ることになります。その知恵と技術を「文化」と呼びます。私たちは「たちかわ創造舎」を、対話から文化が生まれる場にしていくために尽力していきます。

連携団体

たまがわ・みらいパーク企画運営委員会（※第一期に引き続き連携）
一般社団法人 Theatre Ort

※NPO法人日本自転車環境整備機構は第1期で連携終了

サポート団体

風煉ダンス／すこやかクラブ／鮭スペアレ／Chalk2U
TRYCLE合同会社／たちかわサイクルサッカークラブ
株式会社クラック（たまライド運営）／Brompton in Palace

3. ビジョン

第二期にむけて：2021年4月～2026年3月末まで

第一期の5年余りの活動において、撮影利用は当初の予想以上の利用があった。また文化芸術を通してコミュニティをデザインするという目途の事業に賛同する個人や組織も着実に増えており、多摩エリアにおける文化芸術の事業をつくり・支える拠点として第二期も運営を行ないたいと考えている。

一方で複数回に渡る増税の影響や2019年度末～2020年度にかけて新型コロナウイルス（COVID-19）感染症による対策のための休業及び営業時間の短縮、利用制限による収益減から、第二期事業計画として提案する内容は、運営にかかる経費見直し及び経営の立て直しを重要視しなくてはならない状況もある。減収による影響は大きく、また状況においても完全復帰に至っていないため今後の収益については楽観視できない状況のため、たまたがわ未来パーク及び特別利用団体の活動に関する条件変更について協議を希望する。

事業においては、第一期の「インキュベーション・センター事業」、「フィルムコミッション事業」、「サイクル・ステーション事業」、「コミュニティ・デザイン事業」という4つの事業区分を見直し、経営再建のため「施設活用事業」と「文化推進事業」の2つに再編する。「施設活用事業」を施設・ハード面のものとし、「文化推進事業」をイベント（プロジェクト含む）・ソフト面のものとする。

「施設活用事業」の撮影利用料を収益の柱とし、施設の管理運営・人件費を確保する。

「文化推進事業」は低予算かつ地域の文化体験の充実や地域コミュニティ活性化につながるものをベースに行う。プログラムの内容は第1期における「コミュニティ・デザイン事業」で特に成果があがっている演劇やダンスを用いたプログラムを中心とし、施設の立地を活かした自転車文化も含む。助成金・補助金などを別途獲得できれば追加事業を行う。地域企業・施設との連携によって予算が十分であると判断できたものも同様に追加事業として実施する。

ディレクターは「文化推進事業」の実施・実現・拡大のために業務を行う。

多摩エリアの「文化芸術によるコミュニティ・デザイン」及び「文化芸術活動支援」は全ての事業を通して達成する目標として継続する。

4.事業について

施設活用事業

映像コンテンツの作成のために、本物の学校ロケーションである施設の貸出を行う。
また撮影以外でもたちかわ創造舎の目的に沿う団体に対して、スペース利用のサポートを行う。

①撮影利用

A棟（教室、廊下、屋上など）、体育館、校庭など

②サポート団体利用

たちかわ創造舎の目的に沿う団体を、サポート団体とする。それぞれの活動内容に応じて、スペースの長期利用または一時利用の優先予約と利用料の減免、たちかわ創造舎の事業への協力などを取り決める。スペース利用契約は1年ごとの更新（最長更新可能年数は検討中）。シェアオフィスは空きが出れば追加募集をかける。

〔サポート団体〕

風煉ダンス／すこやかクラブ／鮭スペアレ／Chalk2U／TRYCLE合同会社／
たちかわサイクルサッカークラブ／株式会社クラック（たまライド運営）／Brompton in
Palace

③一般利用

たちかわ創造舎内の空き教室や1階オープンスペースを、専門的なセミナーやワークショップの会場、起業に向けたチャンレンジショップとしての利用を受け入れる。

④特別利用団体（市民スポーツ団体）

オープン当初から受け入れている地域のスポーツ団体の体育館、校庭利用を引き継ぎ受け入れる。

文化推進事業

たちかわ創造舎では演劇・ダンスのアーティストと共に、地域に向けた親しみやすく専門性の高い文化体験を提供する。また多摩エリアで文化芸術の推進を目指す企業等と連携し、様々な文化事業を実施し多摩エリア全体の文化を通してコミュニティ・デザインに寄与することを目指す。

〔自主事業〕

ほうかごシアター

第1期から継続して、「よみしばい」などを年10回程度実施する。また個人協賛による子どもの観劇サポートシステムの導入により、助成金に頼らずに5年間プロジェクトを継続し、かつ鑑賞料金（大人400円・子ども200円）の据え置きを目指す。

キッズシアターフェス

たまみらまつりと同日開催（年1回）

子どもの居場所づくりに取り組んでいる「たまたがわ・みらいパーク」と、舞台芸術の専門家を中心としたアーティストが集う「たちかわ創造舎」による、子どもも大人も楽しめる演劇とダンスのお祭りを、サポート団体とともに開催する。